認定介護福祉士養成研修

科目『認知症のある人への生活支援・連携』事前課題Ｎｏ．１

【事前課題の内容】
「ひもときシート」を用いて自職場の事例に対する思考の整理を行う。

【事前課題のねらい】
「ひもときシート」を用いて、認知症のある人等の言動からその背景要因をひもとき、思考の転換と思考の展開を図る。それにより、認知症のある人等の視点に立った分析的理解につなげていく。

【事前課題の方法】
＜事前提出するもの＞　　ワークシート（ひもときシート様式）
※ １部提出　＋　コピー（１部）を各自講義当日に持参すること。
＜留意事項＞
・特定の人物を１名設定し、テキスト P172～181 とひもときねっと！＞ひもときシートを使ってみよう（dcnet.gr.jp)を参考にして、ワークシート内にある項目を埋めてみてください。(特定の人物についてすでに得られている情報を整理すればよい)
・個人情報の取り扱いには、十分留意して下さい。
・ワークシートへの記入は、１事例の一部分だけでかまいません。
・事例は個人情報が特定できないように、修正加工してください。
・事例は研修の中で教材として使用し、研修参加者等と共有されますのであらかじめご了承ください。

【事前課題の提出期限】　令和５年３月１３日（月）
＊認知症ケアに関わっていない受講生もいますので、認知症のない人の事例を用いても構いません。ただし今回の事前課題は、認知症の有無に関わらずその人本位の視点（パーソンセンタードケア）を踏まえた思考を整理することをねらいとしています。ファーストステップ研修科目「コミュニケーション技術の応用的な展開（認知症)」で学んだ内容を踏まえ、今回の認定介護福祉士養成研修科目「認知症のある人への生活支援・連携」においてより深く学ぶことになります。その点に留意して課題に取り組んでください。